

第三回運営推進会議議事録

- 日時
平成19年10月25日(金) 11時～13時
- 場所
グループホームいこい 事務室
- 出席者
包括センター代表、訪問看護ステーション代表、消防署職員、ご近所代表2名
施設長 三木、管理者 伊成 内沼、山腰
- 議事の経過
- 挨拶(三木)
- 運営推進会議の説明(三木)
- 重要事項の説明(三木)
- 理念の説明(三木)
- 写真を交えながらいこいでの日常生活(行事含む)の説明(山腰、内沼)
 - 7月1日 バス遠足
 - 7月7日 七夕
 - 7月18日 吉川よしひろ氏によるチェロコンサート
 - 7月25日 花火大会
 - 8月5日 第4回いこい祭り(家族の親睦会を兼ねる)
 - 8月22日 ととろの会による慰問
 - 9月17日 敬老の日
 - 9月22日 家族会
 - 9月25日 網走新民謡同好会による慰問
- 7月から9月までの期間内に発生したヒヤリハット、事故の報告(山腰)
ヒヤリハット 7月…2件 8月…4件 9月…6件 (軽い転倒…9件 その他…3件)
報告すべき事故の発生はありませんでした。
- 入居者の平均介護度等の説明(伊成)
平均介護度…2.4
車椅子常時使用者…2名 (骨折し医師より歩行は無理と言われた方、むくみがあり車椅子を使用したところ、そのまま歩行が出来なくなってしまった方)
いこいでは入居されている方には出来るだけ歩行できる状態を維持してほしいという考えを参加者に伝える。

- 事例紹介(伊成)

頻回に転倒を繰り返している方がいました。

認知症ですから、「ここにいて下さいね」「はい、分かりました」と言ってもすぐに歩きだしてしまいます。

私たちは、その方に24時間体制で、転倒を回避するためのケアを続ける事にしました。

また、少しでもリスクを少なくするために、ヒッププロテクターと、サポーターをご家族の方にお願ひして用意していただきました。

徐々に歩行の方も安定してきてはいましたが、この方はもともとオシャレな人でした。

ある時、スタッフのひとりが、行きつけのパーマ屋さんに連れて行き、パーマをかけてきました。

とってもすてきになって帰ってきました。本人も、いつも以上に鏡を見るようになり笑顔が増えてきました。

それからと言うもの見違えるように生き生き生活するようになりました。

もちろん、それから転倒することは一度もありません。

- 消防設備の説明

- 参加者同士の懇談

転倒予防は実のどころ難しい。むしろ転倒したとしても怪我をしない方法を考えた方がよいのではないかと最近を考えている(訪問看護代表)

確かに居室はプライベート空間であり常時見守るのは不可能。また、畳で生活されていた入居者がベッドからの起き上がりの時、畳の上と勘違いしベッドから落ちてしまうことも考えられる。(伊成)